

講義名	研究演習（全学部）		
講義コード	25203	授業形態	
担当教員	岡田 恵実	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限
		キャンパリング・コード	SEM250

学部・学科	演習分野
全学部、全学科対象	起業・ビジネス創造

<p><b>概要説明</b></p> <p>1. 岡田ゼミで学ぶこと 今の時代、多くの起業やビジネス、プロジェクトが生まれていますが、それらの多くは、「自分ごとの課題をどう解決するのか」というところから始まっています。なぜなら、自分が感じている問題意識や願いは小さなことと思いがちですが、実はどんなこともなんらかの社会を代表しているからです。つまり、自分の問題意識はほかの誰かも必ず同じ問題意識を持っています。 ですから、自分自身が抱えている課題や願い、周りの身近な人が抱えている課題を深く理解したり共感することから、その解決策としてのアイデアが生まれ、ビジネスやプロジェクトにつながっていくのです。 このゼミでは、自分自身の問題意識や願いを中心とした「自分ごと」からはじまる起業やビジネス、プロジェクトについて一緒に学んでいきます。 具体的には、起業家や支援者との対話、企業との連携、イベント等への関与など、外との接点を多く作っていく予定です。 最終的には、自分ごとのプロジェクトを作り、一歩を踏み出すこと（起業したい人の場合には結果これが起業になるかもしれませんが）を目指していければと考えています。</p> <p>2. 岡田ゼミについて (1) 岡田ゼミ=だえみゼミ このゼミの担当教員である岡田は、年齢や立場を問わず多くの人から「だえみ（岡田恵実の後ろ三文字）」と呼ばれています。したがって、通称だえみゼミ、です。この呼び名のとおり、敬意や配慮は当然必要ですが、垣根のないフラットな運営をしいきたいと思っています。 (2) ゼミのモットー：「三楽」 「楽しいことを楽しく楽に」の意味です（私の恩師のゼミのモットーでもあります）。 「三楽」を実現するためには、そのための努力や行動の積み重ねが不可欠であり、すぐに楽にはなりません。結果として「三楽」なゼミだとみなさんが思える活動を一緒につくっていききたいと思っています。 (3) ゼミで大切にしたいこと ①「わたし」を主語に ②「学び合い」 ③「タテヨリ」ナメ（横（同期）のつながりはもちろんのこと、縦（先輩後輩）、そして斜め（ゼミ以外の人たち）との交流を積極的にしていきます） ・ゼミ生による主体的運営</p>
--

<p><b>主な卒業論文のタイトル</b></p> <p>卒業論文については、学生と一緒に考えていきます。</p> <p>&lt; 卒業論文の例 &gt;  「地産地消と淡路島観光との関係」  「TEDが関係者に及ぼす影響 - TEDxKobeに関わる人々からのインタビューより -」  「殺処分を指摘しながら黒字運営ができる動物保護事業施設づくりの提案」  「ジェンダーレスファッションの現在地と未来への可能性」  「ベストセラードレスされる絵巻に関する一考察」  「墨田の中小企業から何を学んだのか - だえみゼミ私的夏合宿inすみだでの中小企業経営者へのインタビューから -」  「日本人との異文化交流会型による日本語活用の効果と課題」  「クラブチーム活動が中学生の人間関係や競技に関する意識にどのような影響を及ぼすのか？」</p>
--

<p><b>教員からの要望</b></p> <p>ゼミは、学生生活において一つの大切な居場所だと私は考えています。 自分自身の関心が何なのかに気づき、それを探究する場所。自分を高め、成長する場所。ゼミを起点に行動し、社会への接点を数多く作り、今後の人生への架け橋となる場所。そして何より、最高の仲間たちがいる場所。 それは、その刺激と心地よさの両方ある環境をつくるのは、その場にいる学生のみなさんたちです。 もちろん、そのきっかけは私がつくるところも多いです。でもそれを自分で感じて動く、みんなで心を開いて対話や議論する、応援しあう...それはみなさんしかできません。その結果が大切な居場所たるゼミ、となりますし、みなさんひとりひとり「自分自身の足で社会に踏み出せる」感覚を持つことになります。 ゼミを上記のような場にしたい、そのためにゼミ生同士で協力しながら自ら主体的に活動しようという気持ちのある方に来ていただきたいと思っています。一緒に大切な居場所を創っていきましょう。</p>
--

<p><b>選考方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別ガイダンス期間中に、必ず研究室を訪問し、教員とコミュニケーションをとる機会（面接）を作ってください。</li> <li>面接では、自己紹介のほか、学生生活でやりたいことやゼミで学びたいことなどについて話を聞きますので、事前に考えてきてください。</li> <li>提出書類と面接、成績を総合的に勘案して選考します。</li> </ul> <p>「教員からの要望」欄に記載しましたが、ゼミ生同士で協力しながら自ら主体的に活動しようという気持ちのある方に来ていただきたいと思っています。</p>
---

<p><b>評価方法</b></p> <p>全出席を前提とします。無断欠席、遅刻は厳禁です。 ゼミ（活動を含む）への主体的参加、課題等の提出物やプレゼンテーション等を総合的に評価します。</p>
---

<p><b>到達目標・成果物</b></p> <p>【到達目標】  ・地域や企業の現場から本質的な課題を自ら見つけだし、実効性のある解決策を考え提案できる。  ・地域や企業の関係者と連携・協力しながらプロジェクトをつくり、最後まで責任を持ってやりとげる。  ・自身の思いに基づいた「マイプロジェクト」をつくり、周囲を巻き込みながら一歩を踏み出し、小さくても形にしてみる。</p> <p>【成果物】  研究演習 および研究演習：実施プロジェクトに関する提案/振り返り・活動報告資料（プロジェクト参加者全員で役割分担して作成）  研究演習：マイプロジェクトの実践/関心テーマに関するプレゼンテーション資料（目安：15ページ）  卒業論文：自身の関心テーマに基づく卒業論文（目安：20000字）</p>
--

<p><b>教員英字氏名</b></p> <p>Emi OKADA</p>	<p><b>研究室</b></p> <p>研究棟 308研究室</p>
---------------------------------------	-------------------------------------

<p><b>最終学歴</b></p> <p>早稲田大学大学院商学研究所専門職学位課程ビジネス専攻</p>
--

<p><b>学位</b></p> <p>経営管理修士（専門職）</p>
-------------------------------------

<p><b>主な研究活動・社会活動・研究業績</b></p> <p>【研究活動（今の関心テーマ）】  （起業）  ・アントレプレナーシップ教育と起業意図の形成  ・複業を含むキャリア型起業のプロセス  （中小企業）  ・中小企業経営者の意思決定と変化のプロセス  ・中小企業における学び（研修）と行動変化の定着  詳細は教員プロフィールを参照してください。  <a href="https://www.unids.ac.jp/academics/profile/index_a/okada_emi/">https://www.unids.ac.jp/academics/profile/index_a/okada_emi/</a></p>
---

<p><b>趣味・特技</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ランニング（フルマラソンに年数回参加しています。ウルトラマラソンにも復帰したいと思っています）</li> <li>スイーツ巡り（お菓子を年364日食べています。全国の銘菓にはかなり詳しいです）</li> <li>ネコと遊ぶ（飼っているネコのカレンダーを毎年作成し、全国の希望者に配布しています）</li> <li>スナックのママ的活動（実際にスナックを運営しているわけではありません。ゆるゆると人と語り合う活動やその場づくりが好きでやっています）</li> </ul>
---

<p><b>所属</b></p> <p>商学部経営学科</p>
---------------------------------

<p><b>所属学会</b></p> <p>日本マーケティング学会  日本ベンチャー学会  日本中小企業学会  日本経営診断学会</p>
--

<p><b>専門分野</b></p> <p>アントレプレナーシップ  起業家教育  中小企業経営</p>
--

<p><b>担当科目</b></p> <p>【経営関連】  起業家論、起業・事業承継論、ビジネスプラン論、経営学入門、中小企業論、教養特講（経営学科へのいざない）</p> <p>【演習関連】  専門基礎演習、研究演習、研究演習、卒業研究</p>
--

<p><b>備考</b></p>
------------------

<p><b>実務経験の有無及び活用</b></p> <p>実務経験あり  大学卒業後、国の中小企業支援機関を中心に20年超勤務してきました。  その中で、起業に関心を持つ人々を増やす取り組みや起業支援、中小企業のコンサルティング業務などに関わってきました。  経済産業大臣認定・中小企業診断士。</p>
---